

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

デイリー・ジーザス・ニュース #131

11. イエスは変容の教訓を強調する

マタイ17.9-13 (並行テキスト：MK 9.9-13; ルビー 9.36B)

9彼らが山を下りてくるとき、イエスは彼らに命じられた。

「人の子が死人の中から復活するまでは、あなたが見たことをだれにも話してはならない。」

そして彼らは彼の言葉を心に留めて、互いに議論しながら、「死から蘇った」意味するかもしれない。

10弟子たちはイエスに尋ねました。「では、なぜ律法学者たちは、エリヤがまず来なければならないと言うのですか。」

11イエスは答えた。「確かに、エリヤが来て、すべてを元通りにするでしょう。そして、人の子が多くの苦しみを受け、軽蔑されることがどのように書かれているか？」しかし、私はあなた方に言います、エリヤはすでに来ています。彼らは彼を認めず、自分の望むことをすべて彼に行いました。彼について書かれていたとおりです。

「同じように、人の子も彼らの手によって苦しみを受けるのです。」

13そのとき、弟子たちは、イエスがバプテスマのヨハネについて話しているのだと悟った。そして彼らは黙っていて、その間、自分たちが見たことを一つもだれにも話さなかった。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、イエスの言葉は赤いイタリック体で書かれています。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	カイサリア・フィリピ近くの山
タイムライン	7月 (30月)
イエスの生涯の文脈	第4段階：ガリラヤにおける大宣教
	J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる
タイトル	11. イエスは変容の教訓を強調する

コメント：

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

イエスは、変容があまりにも超自然的な出来事であるため、ペトロ、ヤコブ、ヨハネには理解できないことを知っていました。彼らはイエスの死と復活を経験し、聖霊を受けて理解を深めなければ、理解することができませんでした。そのため、イエスは彼らにそれについて語ってはならないと命じました。復活後まで。彼らは従いました。ペトロは生涯の終わりに、第二の手紙の中で変容について書いています（ペトロの手紙二 1.16-21）。

山を下りる途中、イエスは変容の直後の様子を用いて、ペトロ、ヤコブ、ヨハネと共に、ご自身の死を改めて強調されました。三人は「死からの復活」とはどういう意味なのかを議論していました。復活という話題は、山上で見たばかりのエリヤを思い起こさせるものでした。彼らは、エリヤの変容の出現は、メシアが現れる前に預言者エリヤが死から復活するという当時の一般的な教えの成就なのではないかと考えていたようです。

旧約聖書は次の預言で終わります。

「見よ、主の大いなる恐ろしい日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたたちに遣わす。」
マラ 4.5

イエスは、洗礼者ヨハネが予言されていた「エリヤ」であると説明しました。

イエスは答えの中で、ご自身の苦しみを預言する聖書の箇所を二度も示したことに注目してください。弟子たちが神の言葉に信仰の基盤を置くよう導かれました。旧約聖書は、エリヤのような預言者がメシアの道を備えることを預言したように、メシアの死と復活も預言していました。イエスは、父なる神が聖書に示された、メシアとしてのご自身に関する啓示の巨大な基盤を、弟子たちがより深く理解することを望んでおられました。

変容は、律法と預言者におけるメシアの死と復活に関する聖書の証言を強めるために、神によって意図されたものでした。ペトロは第二の手紙の中で、変容についてこのように結論づけています。「こうして、預言の言葉はより確かなものとなりました。暗い所を照らすともしひのように、あなたはそれに目を留めるべきです...」ペトロの手紙二 1:19 今日の朗読で、イエスはこの真理を教えておられました。

三使徒は山を下りた時、聖書もイエスもまだ理解していませんでした。父なる神が命じられたように、彼らはまだイエスの死について「イエスに耳を傾け」ていませんでした。イエスはその後の宣教活動を通して、弟子たちに十字架について教え続けました。イエスは決して弟子たちを見捨てませんでした。「愛はすべてを忍び」「すべてに耐える」（コリント人への手紙一 13章7節）ことを示し続けられました。

応用：

私たちも、聖書に何度も触れても、理解できず、従えないことがよくあります。この点では、最初の弟子たちと似ています。だからこそ、イエスが彼らを愛し、たとえ彼らが理解できなかつたとしても、教え導き続けたという模範は、非常に大切なのです。

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

福音書は、イエスに従いながら多くの誤解を抱き、御言葉への完全な従順からは程遠い、途上の弟子たちの姿を描いています。彼らの救いは、彼ら自身の生来の従順さではなく、救い主であり主である御方の完全さと恵みによるものでした。そしてそれは今日も同じです。

あなたは聖書のどんな真理を理解し、従うことに苦労していますか？これらの聖書についての理解をさらに深めるために、どのように祈り、聖霊に頼りますか？

これらの聖句について、どんな友人や聖書教師と話し合えるでしょうか。どんな学習教材を活用しますか。

イエスが、あなたが神の言葉を知り従おうと絶えず努力していることを愛してください、成長の過程であなたとともにいてくださることに感謝しましょう。